



平成27年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日  
東

上場会社名 株式会社インタートレード 上場取引所  
 コード番号 3747 URL <http://www.itrade.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 孝博  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 丸山 與一 (TEL) 03-4540-3002  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第1四半期の連結業績 (平成26年10月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第1四半期	558	△9.2	△98	—	△99	—	△100	—
26年9月期第1四半期	614	△8.3	△27	—	△27	—	△29	—

(注) 包括利益 27年9月期第1四半期 △94百万円(—%) 26年9月期第1四半期 △7百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第1四半期	△13.99	—
26年9月期第1四半期	△4.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第1四半期	2,644	1,984	75.0
26年9月期	2,748	2,100	76.4

(参考) 自己資本 27年9月期第1四半期 1,984百万円 26年9月期 2,100百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年9月期	—	—	—	—	—
27年9月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想 (平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,310	4.3	△60	—	△55	—	△55	—	△7.65
通期	2,850	15.7	90	—	85	—	70	—	9.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年9月期1Q	7,444,800株	26年9月期	7,444,800株
② 期末自己株式数	27年9月期1Q	259,200株	26年9月期	259,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年9月期1Q	7,185,600株	26年9月期1Q	7,185,600株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業セグメントは、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム、取引所外取引システム等の開発及び保守運用を中心とする「金融ソリューション事業」、グループ経営管理ソリューションシステムの開発及び販売を中心とする「ITソリューション事業」、健康食品や化粧品等の生産及び販売を行う「ヘルスケア事業」及び自己資金を運用する「自己資金運用事業」の4つです。

当第1四半期連結累計期間（以下、当第1四半期）の当社グループの連結経営成績は以下の表のとおりです。

	平成26年9月期 (前第1四半期)		平成27年9月期 (当第1四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	614	100.0	558	100.0	90.8
金融ソリューション事業	516	84.0	469	84.2	91.0
ITソリューション事業	45	7.5	43	7.7	94.0
ヘルスケア事業	52	8.5	45	8.1	86.5
自己資金運用事業	—	—	—	—	—
営業損失(△)	△27	—	△98	—	—
四半期純損失(△)	△29	—	△100	—	—

(注) 各事業の売上高は、セグメント間の内部取引を含んでいません。

当第1四半期においては、当社の主要顧客である証券業界の事業環境は安定的に推移しました。

金融ソリューション事業は連結売上高の8割以上を占め、その中でも証券会社等のディーリング（自己資金運用）業務を行う法人への売上高は、連結売上高の約3分の2を占めます。

金融ソリューション事業は引き続き当社グループの収益の柱であり、事業の再成長に向けて主力のディーリングシステムにおける次世代プラットフォーム『TIGER Trading Platform Prospect』の研究開発を進めています。平成24年9月期から開始したITソリューション事業とヘルスケア事業は、ともにセグメント損失を計上しており、連結営業損失を計上する要因となりました。自己資金運用事業は若干のセグメント損失となりました。

以上の要因から、連結売上高は前年同期を56百万円下回る558百万円、連結営業損失は前年同期から70百万円増加した98百万円となりました。

セグメント別の概況は次のとおりです。

なお、各事業の売上高には、セグメント間の内部取引を含んでいません。

## (金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業は、当社の事業です。

当第1四半期の経営成績は以下のとおりです。

売上高 469百万円（前年同期比91.0%）

セグメント利益 90百万円（前年同期比70.6%）

なお、金融ソリューション事業の売上内訳は、以下の表のとおりです。

## ■製品区分別

	平成26年9月期 (前第1四半期)		平成27年9月期 (当第1四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
証券ディーリングシステム	330	64.0	314	67.0	95.3
取引所端末	59	11.6	66	14.1	110.6
外国為替証拠金システム	70	13.6	38	8.1	54.3
取引所関連システム	45	8.7	44	9.5	98.3
その他	10	2.1	6	1.3	57.2
合計	516	100.0	469	100.0	91.0

## ■売上区分別

	平成26年9月期 (前第1四半期)		平成27年9月期 (当第1四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
パッケージ売上	13	2.7	23	5.1	174.8
システムインテグレーション売上	48	9.3	34	7.4	72.3
ライセンスビジネス売上	233	45.2	262	55.9	112.5
カスタマーサポート売上	221	42.8	148	31.6	67.1
合計	516	100.0	469	100.0	91.0

## &lt;売上面&gt;

当第1四半期においては、前年同期比で1割程度売上が減少する結果となりました。

- ・外国為替証拠金システムの売上高が大きく減少しました。直近1年の間に顧客の獲得と解約がそれぞれ1件あったものの、解約による売上減少の影響が上回ったことが主な要因です。
- ・取引所端末は、着実に新規顧客を獲得しており、売上高が増加しています。
- ・売上種別では、ランニング売上（ライセンスビジネス売上及びカスタマーサポート売上）の減少が、合計売上高減少の要因となりました。前年同期と比較し取引顧客数は着実に増加していますが、新規顧客の顧客単価が比較的小さいため、合計売上高の増加には至りませんでした。

## &lt;費用面&gt;

- ・ASP化の進展と積極的なコスト削減の実行により、現行ディーリング・トレーディングシステムの運用工数やサーバ保守に係るコストが着実に減少しています。
- ・TIGERの次期基幹システムとなる『TIGER Trading Platform Prospect』の研究開発や、昨今の市場環境の大きな変化に適合した顧客にとって極めて付加価値の高い先進的なソリューションの開発を積極的に進めています。

金融ソリューション事業においては、継続的にコスト削減を実施し効果をあげていますが、上述のとおり、今後の収益のための研究開発も積極的に進めています。

## (ITソリューション事業)

ITソリューション事業は、当社及び株式会社ビーエス・ジェイ（以下「BSJ」）の事業です。

当第1四半期の経営成績は以下のとおりです。

売上高 43百万円（前年同期比94.0%）

セグメント損失 11百万円（前年同期は28百万円のセグメント損失）

グループ経営管理ソリューションシステムの販売とエンジニア派遣が主要なサービスであり、加えてIT運用管理サービスの提供を行っています。当第1四半期においては、これら既存サービスを安定的に提供する一方で、エンドユーザーの課題解決をIT面から支援するサポートセンター業務の受注活動に力を入れ、一部案件は当第1四半期にて売上を計上しました。また収益基盤の強化に向けて、経営統合管理プラットフォーム『GroupMAN@IT e<sup>2</sup>』等のグループ経営管理ソリューションシステムの受注活動も積極的に行っています。

BSJでは業務効率化によるコスト削減が功を奏し、売上高は前年同期並ながら利益が大きく改善しました。

## (ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業は当社、株式会社らぼおぐ（以下「LBG」）、株式会社健康プラザパル（以下「パル」）及び株式会社ビューティーグルカンの事業です。

当第1四半期の経営成績は以下のとおりです。

売上高	45百万円（前年同期比86.5%）
セグメント損失	95百万円（前年同期は51百万円のセグメント損失）

ヘルスケア事業においては、個人消費者向けの事業を展開しているパル及び株式会社ビューティーグルカンの売上高に占める割合が高く、粗利率が高い自社ブランド品の販売に力を入れました。結果として、売上高に占める自社ブランド品の割合が増加し、前年同期と比較し粗利率が改善しました。売上高の面では、前年同期は平成26年4月の消費税増税前の駆け込み需要があり、当第1四半期はその反動で減収となりました。

費用面においては、平成26年10月に発表した学校法人東京女子医科大学及び独立行政法人産業技術総合研究所との産学官連携共同研究に伴う研究開発費や雑誌媒体への広告宣伝費等の先行投資的な支出があり、当第1四半期のセグメント損益に大きく影響しました。

## (自己資金運用事業)

自己資金運用事業は、株式会社トレーダクスの事業です。

当第1四半期の経営成績は以下のとおりです。

売上高	—
セグメント損失	0.2百万円（前年同期は0.2百万円のセグメント損失）

金融ソリューション事業において年内稼働を予定している『TIGER Trading Platform Prospect』に関連する研究等を行っています。当第1四半期は若干の費用計上のみとなりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産額（負債及び純資産の合計額）は前連結会計年度末に比べ103百万円減少し、2,644百万円となりました。自己資本比率は75.0%、当座比率（当座資産÷流動負債、短期的安全性の指標）は419.0%であり、短期、中期共に財務面の安定を保っています。

## (資産)

総資産合計2,644百万円のうち、現金及び預金と有価証券（MMF）が1,551百万円（構成比58.7%）を占めています。

その他の主な資産は、棚卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）255百万円（構成比9.7%）、受取手形及び売掛金192百万円（構成比7.3%）、投資有価証券190百万円（構成比7.2%）となっています。

## (負債)

負債合計660百万円のうち、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の合計が431百万円（負債及び純資産に対する構成比16.3%）を占めています。

## (純資産)

純資産合計は1,984百万円であり、主な内訳は資本金1,478百万円、資本剰余金794百万円、利益剰余金△218百万円、自己株式△95百万円となっています。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは金融市場の動向の影響を受ける事業環境にありますが、現時点では平成26年9月期決算短信記載の連結業績予想で想定したとおりの進捗をしており、連結業績予想の変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,049,056	999,420
受取手形及び売掛金	238,065	192,078
有価証券	551,662	551,711
商品及び製品	86,302	84,748
仕掛品	139,305	154,926
原材料及び貯蔵品	17,962	16,192
繰延税金資産	15,000	15,000
その他	95,091	88,534
貸倒引当金	△12,077	△12,099
流動資産合計	2,180,368	2,090,513
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	180,533	180,533
減価償却累計額	△62,475	△67,011
建物及び構築物(純額)	118,058	113,521
機械装置及び運搬具	19,820	19,820
減価償却累計額	△6,943	△7,657
機械装置及び運搬具(純額)	12,877	12,162
工具、器具及び備品	322,062	324,673
減価償却累計額	△307,382	△308,879
工具、器具及び備品(純額)	14,679	15,793
リース資産	27,144	27,144
減価償却累計額	△17,834	△19,158
リース資産(純額)	9,309	7,986
有形固定資産合計	154,924	149,464
無形固定資産		
ソフトウェア	35,745	31,298
のれん	39,857	36,056
その他	1,247	1,247
無形固定資産合計	76,850	68,602
投資その他の資産		
投資有価証券	184,596	190,546
繰延税金資産	800	800
その他	166,301	160,150
貸倒引当金	△15,742	△15,742
投資その他の資産合計	335,955	335,754
固定資産合計	567,730	553,821
資産合計	2,748,099	2,644,334



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	84,651	78,432
短期借入金	105,000	105,000
1年内返済予定の長期借入金	118,866	113,906
リース債務	5,530	4,546
未払法人税等	1,305	549
受注損失引当金	—	2,600
その他	102,857	110,980
流動負債合計	418,210	416,013
固定負債		
長期借入金	190,565	212,761
リース債務	4,794	4,331
長期割賦未払金	33,102	26,069
退職給付に係る負債	1,244	1,140
固定負債合計	229,706	244,302
負債合計	647,916	660,316
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,478,433	1,478,433
資本剰余金	794,264	794,264
利益剰余金	△96,734	△218,848
自己株式	△95,031	△95,031
株主資本合計	2,080,932	1,958,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,250	25,200
その他の包括利益累計額合計	19,250	25,200
純資産合計	2,100,182	1,984,017
負債純資産合計	2,748,099	2,644,334

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
売上高	614,467	558,040
売上原価	412,052	360,213
売上総利益	202,414	197,826
販売費及び一般管理費	229,804	296,016
営業損失(△)	△27,389	△98,190
営業外収益		
受取利息	143	105
受取配当金	2,000	900
受取手数料	207	139
その他	920	81
営業外収益合計	3,272	1,226
営業外費用		
支払利息	2,937	2,047
その他	186	45
営業外費用合計	3,124	2,092
経常損失(△)	△27,242	△99,056
特別損失		
事務所移転費用	—	688
特別損失合計	—	688
税金等調整前四半期純損失(△)	△27,242	△99,745
法人税、住民税及び事業税	1,914	812
法人税等合計	1,914	812
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△29,157	△100,557
四半期純損失(△)	△29,157	△100,557

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△29,157	△100,557
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,014	5,950
その他の包括利益合計	22,014	5,950
四半期包括利益	△7,142	△94,607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,142	△94,607
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融ソリュー ション事業	ITソリュー ション事業	ヘルスケア 事業	自己資金運 用事業			
売上高							
外部顧客への売上高	516,402	45,777	52,286	—	614,467	—	614,467
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	875	32	—	907	△907	—
計	516,402	46,652	52,319	—	615,374	△907	614,467
セグメント利益又は損失 (△)	128,438	△28,655	△51,385	△296	48,101	△75,490	△27,389

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△75,490千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融ソリュー ション事業	ITソリュー ション事業	ヘルスケア 事業	自己資金運 用事業			
売上高							
外部顧客への売上高	469,758	43,028	45,253	—	558,040	—	558,040
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	750	67	—	817	△817	—
計	469,758	43,778	45,320	—	558,857	△817	558,040
セグメント利益又は損失 (△)	90,652	△11,558	△95,198	△217	△16,321	△81,869	△98,190

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△81,869千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。